

令和6年度 第4回 上阿多古小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年2月18日（火） 9時30分から11時25分まで
- 2 開催場所 上阿多古小学校 2階多目的ホール
- 3 出席委員 金指 徳吉、平野 保徳、青柳 茂美、小出 住子、金指 成哉、森 三也、金指 恵理子
- 4 欠席委員 田口 龍也
- 5 学 校 内山 佳乃（校長）、平野 将太郎（教頭）、前沢 寿成（CS担当教職員）、中澤 郁美（CSディレクター）
- 6 教育委員会 井島 健蔵（教育総務課）
- 7 傍 聴 者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 中澤 郁美
- 9 議長の選出

司会の教頭から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、平野委員が、本日の議長を務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。

10 前回会議録の確認

議長の指示により、CSディレクターから、別途資料に基づき前回会議録について確認説明があった。

11 2学期後半からの上阿多古小学校の教育活動について

議長の指示により、教頭から、2学期後半からの上阿多古小学校の教育活動について報告があった。

12 協議事項

（1）学校評価について

- ・学校評価の報告
- ・「いじめ防止対策基本方針」について

（2）学校運営協議会の自己評価と来年度の取り組みについて

（3）令和7年度の学校運営の基本方針について

- ・グランドデザインについて
- ・主な行事計画について

11 会議記録

司会から、委員総数8人のうち7人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）学校評価について

議長の指示により、CS担当教職員から、別途資料に基づき学校評価の結果について報告があった。また、教頭から、「いじめ防止対策基本方針」に基づく取り組みについて

報告があった。委員からは、以下の発言があった。

- ・自己評価の1「自ら学びに向かう子」の2つ目の項目において、タブレットの効果はあるか？また、読書の機会を増やしてほしい。（青柳委員）
→ピンポイントでの使用はあるが、学級内での交流(話し合い)ではタブレットを使用していない。火・木で朝読書などあるが、本に親しむ時間は今後も確保したい。（CS 担当教職員）
- ・子供だといじめ、大人だとパワハラ。いずれも相手の主観である。周りから見た場合と本人の感じ方に相違があると思う。（金指会長）
- ・上阿多古小は全員で遊んでおり、お互いを分かり合っているので、いじめは感じない。人を思いやることが一番大切。（平野委員）
- ・家庭でいじめに関する会話は出てこない。前の学期を振り返り、「こんな時どうする？」という活動は子供たちに気付きや変化を与えるので良い。（金指成哉委員）
- ・みんなで話し合い、自分たちで考えるということが良い。全校で仲が良かったため、いじめの心配がないのでは。（小出委員）
- ・家庭でいじめの話などは出てこない。（森委員）
- ・個人的に思うことはあるだろうが、表面的に出すか出さないかの問題。子供に寄り添って先生が見てくれている。子供たちが良い表情をしている。（青柳委員）
→日々の声掛けなどで、子供と教師、保護者と教師が解決できるような間柄になっているかが大切。（教頭）

（2）学校運営協議会の自己評価と来年度の取り組みについて

議長より、別途資料に基づき学校運営協議会の自己評価と来年度の取り組みについて委員に意見を求めたところ、委員からは、以下の発言があった。

＜評価項目1＞

- ・学校教育目標などについて、分かりやすく説明を受け理解できた。（平野委員）
- ・目標に向かって取り組んでいると熟議した。（金指成哉委員）
- ・小規模校ならではの良さを感じた熟議ができた。（小出委員）
- ・小規模校ならではの発展と充実、素晴らしい学校行事ができていた。子供たちも、学校、地域の方々とつながりの大切さが分かったと思う。（金指会長）
- ・参観の視点に沿って授業を参観することで、子供たちの具体的な姿から基本方針に迫る熟議ができた。（青柳委員）

＜評価項目2＞

- ・何事も振り返りや反省が新たな成長につながることを信じて、様々な意見を交換することができた。（平野委員）
- ・小規模校なので、地域の方の協力が必要であると熟議した。（金指成哉委員）
- ・地域、保護者、学校とつながりの必要性を感じた。（森委員）
- ・委員の声掛けで地域の方の色々な協力もあり、熟議はできた。（小出委員）
- ・子供たちが主体的に取り組む、学校、家庭、地域が一体となって盛り上がる熟議が

された。（青柳委員）

- ・意見は述べたが、地域として率先した関わりができていないかは課題。（金指会長）

<評価項目 3>

- ・学校だよりなどにより情報発信はできていると思うが、回覧ではなかなか見ないのではないか。子供がいないと学校に関心がないのでは。地域へ発信できる方法があると良い。（平野委員）
- ・地域の方が課外授業に協力してくれた。子供たちへ「チャレンジ精神」や「自ら考える大切さ」が伝わったのではないかと。（金指成哉委員）
- ・学校からの十分な情報発信はできているのではないかと。（森委員）
- ・子供がいらない家庭は関心がないと思う。より分かるような方法があると良い。（小出委員）
- ・情報発信はできていると思う。継続していくことが大切。民生委員の会合で上阿多古小のことを話している。（青柳委員）

<評価項目 4>

- ・何事も振り返りや反省が必要。子供たちの目線に立った取り組みや活動をしていくことが大事である。（平野委員）
- ・地域の方の協力が重要。回覧をまず手にとってもらう工夫が大切。（金指成哉委員）
- ・子供たちが安全、安心、楽しく学校に行くことができるよう、支援していきたい。（森委員）
- ・子供がやりたいと思うことができるようになると良い。（小出委員）
- ・行事への参画など、委員にできることがあると良い。（青柳委員）
- ・委員が中心となって、子供たちと触れ合えると良い。（金指会長）

全体を通して、委員からは、以下の発言があった。

- ・地域の団体に参入してもらい、お互いに協力できれば色々な体験ができるのではないかと。（平野委員）
- ・地域行事への参加に率先して入っていくのは良い。個々のやりたいことを伸ばす環境づくり、PRをもっと十分に伸ばしたい。（青柳委員）
- ・小規模校ならではの、子供の個性を伸ばせる環境にしたい。（平野委員）
→今の学習の中で、子供たちの思いを引き出したい。子供たちに押しつけるのではなく、選択肢を示し、選択する自由を与えたい。（校長）
- ・本年度の目標「地域の方々に学校のことを伝え、地域と一体化した学校教育を推進していきたい」を継続したい。（青柳委員、金指会長）

協議の結果、来年度の目標は以下のとおりとなった。

- 学校教育への理解を今以上に深め、小規模校ならではの発展と充実に向け、グラウンドデザイン具現化のための方策を考えていきたい。

○地域と一体化した学校教育を推進していくために、地域の方々に学校の情報を発信する方法を検討していきたい。

(3) 令和7年度の学校運営の基本方針について

議長の指示により、校長から、別途資料に基づき令和7年度の学校運営の基本方針について説明があり、委員からの発言はなかった。

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

また、議長の指示により、CS担当教職員から、令和7年度の主な学校行事について説明があり、委員からの発言はなかった。

【その他報告事項等】

○教育総務課井島指導主事より、来年度に向けた情報発信について事例紹介があった。

○司会から、夢育やらまいかCS加算分について報告があった。

○司会から、来年度の会議は以下の日程で開催する旨の報告があった。

令和7年度	第1回	4月23日(水)	9:30~11:00
	第2回	7月3日(木)	9:30~11:00
	第3回	12月5日(金)	9:30~11:00
	第4回	2月18日(水)	9:30~11:00

○校長から、来年度のぎんなん祭りにおけるぎんなん配布について報告があった。